
















人工股関節再置換術を受けられる患者さんへ

| 患者氏名 | | 主治医 | | | | 受け持ち看護師 | | |
|------------------------|---|--|--|--|---|---|---|--|
| 項目 | 入院日 | 手術前日 | 手術当日(手術前) | 手術当日(手術後) | 手術後1日目 | 手術後2日目 | 手術後3日目 月 日～退院まで | 退院からの注意事項 |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none"> 手術に向けて体と心の準備ができる。 手術後の状態について不明な点は医療者に質問し理解できる。 発熱がない。 手術に必要な物品の準備ができる。  | <ul style="list-style-type: none"> 手術に向けて体と心の準備ができる。 痛みや吐き気がある際は医療者に伝えることができる。 食べたり飲んだり出来ないことが守れる。 | <ul style="list-style-type: none"> 仰臥位でのベッド上安静を守る事ができる。 痛みや吐き気がある際は医療者に伝えることができる。 足関節の底背屈運動することで足の血流を直し、肺塞栓を予防することができる。 腓骨神経(ひざ下の外側にある神経)の圧迫を予防し、神経麻痺が起こらないようにする。 ヒップアップをすることで、床ずれが予防できる。 股関節が脱臼しやすい足の位置を知り、注意することができる | <ul style="list-style-type: none"> 仰臥位でのベッド上安静を守る事ができる。 痛みや吐き気がある際は医療者に伝えることができる。 足関節の底背屈運動することで足の血流を直し、肺塞栓を予防することができる。 腓骨神経(ひざ下の外側にある神経)の圧迫を予防し、神経麻痺が起こらないようにする。 ヒップアップをすることで、床ずれが予防できる。 股関節が脱臼しやすい足の位置を知り、注意することができる | <ul style="list-style-type: none"> ドレーンが抜けて歩行または車椅子に移乗できる。 転倒予防行動をとることができる。 痛みがある際は医療者に伝えることができる。 安静度が理解できる。 足関節の底背屈運動ができる。 劇痛や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。 脱臼予防を継続することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 転倒予防行動をとることができる。 痛みがある際は医療者に伝えることができる。 安静度が理解できる。 足関節の底背屈運動ができる。 劇痛や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。 脱臼予防を継続することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 退院後異常があるときは、早めに連絡し受診する事ができる。 | |
| 治療・薬剤(点滴・内服)・処置・リハビリ | <ul style="list-style-type: none"> 現在内服しているお薬は医師の指示に従ってください。 | <ul style="list-style-type: none"> 21時頃に下剤を飲みます。  | <ul style="list-style-type: none"> 朝の5時～6時に洗顔を行います。 指示された薬のみ内服します。 1番目の方は8時頃に手術室へ行きます。 2番目以降の方は、病棟で点滴を行い、連絡が来たら手術室へ行きます。  | <ul style="list-style-type: none"> 点滴、ドレーンがあります。 心電図モニターと肺塞栓予防のために足にフットポンプを装着します。 患部は機械で冷します。 痛みがあるときは、痛み止めを使いますのでナースコールでお知らせください。 | <ul style="list-style-type: none"> 今まで飲んでいた薬を再開します。 新たに鎮痛剤の内服が開始となります。 内服薬の自己管理が出来るまで看護師が配ります。 自己血を輸血します。 抗生物質の点滴があります。  | <ul style="list-style-type: none"> 抗生物質の点滴があります。 傷の消毒を行い、ドレーンを抜きます。 リハビリテーションが始まります。 リハビリテーション室は2階にあり、時間は朝看護師が伝えます。 | <ul style="list-style-type: none"> 手術後11日～14日の間に傷を確認し抜糸を行います。 リハビリテーションを頑張らしましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> <退院後の生活について> 【洋式トイレの使用】 【入浴の際の注意点】 【体重コントロールについて】 【感染予防について】 手術した傷の異変や発熱が持続するなど、異常を感じた場合はすぐに医療機関を受診してください。また、術直後の制限がある場合は、医師の指示を守り安全に移動しましょう。 【転倒予防について】 【脱臼予防について】 【外来診察とリハビリテーションについて】 【内服について】 |
| 検査 | <ul style="list-style-type: none"> 医師立ち合いの下でレントゲン検査があります。 その他必要な検査を行います。  | <ul style="list-style-type: none"> 必要な検査がある場合のみ行います。 | <ul style="list-style-type: none"> 特にありません | <ul style="list-style-type: none"> 手術後に採血があります。  | <ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血をします。 | <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて採血やレントゲン撮影を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> 医師の許可があれば1人で歩行器歩行が可能です。  | <ul style="list-style-type: none"> 【洋式トイレの使用】 【入浴の際の注意点】 【体重コントロールについて】 【感染予防について】 手術した傷の異変や発熱が持続するなど、異常を感じた場合はすぐに医療機関を受診してください。また、術直後の制限がある場合は、医師の指示を守り安全に移動しましょう。 【転倒予防について】 【脱臼予防について】 【外来診察とリハビリテーションについて】 【内服について】 |
| 活動・安静度 | <ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 転倒予防のため必ず靴を履きましょう。 | | | <ul style="list-style-type: none"> ベッド上で過ごします。 ドレーンの抜去防止のために看護師がベッドアップを行いますので、ナースコールを押してください。 1人で横向きはなれません。ナースコールを押して看護師を呼んでください。 | <ul style="list-style-type: none"> 歩行器での歩行を開始します。初回の移乗は医師と一緒にします。 医師の許可があるまで、必ず看護師と一緒に移動しますので、トイレや移動の際はナースコールでお知らせください。 | <ul style="list-style-type: none"> 歩行器での歩行を開始します。初回の移乗は医師と一緒にします。 医師の許可があれば1人で歩行器歩行が可能です。  | <ul style="list-style-type: none"> 退院後も続く内服薬がある場合は継続して内服し、退院後初回再診日まで、不明な点、不安な事がありましたら下記連絡先へ電話してください。 | |
| 食事 | <ul style="list-style-type: none"> 昼食よりお部屋の方に配膳します。  | <ul style="list-style-type: none"> 絶飲絶食の時間は麻酔科医師の診察後にお知らせします。 | <ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医師の指定された時間まで水分(水、お茶のみ)を摂ることができます。絶飲絶食の時間をお守りください。 | <ul style="list-style-type: none"> 手術当日は絶食になります。飲水は看護師の指示に従ってください。 | <ul style="list-style-type: none"> 手術前と同様の食事が始まります。  | <ul style="list-style-type: none"> 歩行器での歩行を開始します。初回の移乗は医師と一緒にします。 医師の許可があるまで、必ず看護師と一緒に移動しますので、トイレや移動の際はナースコールでお知らせください。 | <ul style="list-style-type: none"> 医師の許可があれば1人で歩行器歩行が可能です。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎平日 8時～16時(火・水・金) 整形外科外来 (0985)85-9885 ◎時間外、土、日、祝日 2階東病棟 (0985)85-1743 |
| 清潔 | <ul style="list-style-type: none"> シャワーに入ってください。介助が必要な方は看護師が介助します。 必要な部位の剃毛を行います。 手足の爪切りを行います。 化粧やマニキュアはとって下さい。 | | <ul style="list-style-type: none"> シャワーや体拭きはできません。 | <ul style="list-style-type: none"> 看護師が体を拭きます。 医師の許可が出るまでシャワーには入れません。 洗髪や足を洗うことは患者さんと話し合いながら計画を立てていきます。  | <ul style="list-style-type: none"> 傷の抜糸が終わりました。医師が確認した後にシャワーの許可が出ます。 シャワーの許可が出たら、看護師がシャワーの介助をします。 | <ul style="list-style-type: none"> 傷の抜糸が終わりました。医師が確認した後にシャワーの許可が出ます。 シャワーの許可が出たら、看護師がシャワーの介助をします。 | | |
| 排泄 | <ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 | | <ul style="list-style-type: none"> 尿の管は入れたままです。 便意がある時は看護師にお知らせください。ベッド上安静のため、オムツや便器を使用した排泄になります。  | <ul style="list-style-type: none"> 尿管は入れたままです。 便意がある時は看護師にお知らせください。ベッド上安静のため、オムツや便器を使用した排泄になります。 | <ul style="list-style-type: none"> 尿管は入れたままです。 便意がある時は看護師にお知らせください。ベッド上安静のため、オムツや便器を使用した排泄になります。 | <ul style="list-style-type: none"> 尿管の管を抜きます。排尿と排便はトイレで行う事ができます。 | | |
| 患者様及びご家族への説明・栄養指導・服薬指導 | <ul style="list-style-type: none"> 病棟クラーク(事務職員)が病棟の案内を行います。 クニカハスに沿って手術前オリエンテーションを実施します。 主治医から手術説明、麻酔科医師から麻酔の説明があります。手術説明は家族同伴で行いますので、そのまま帰らずにお部屋でお待ち下さい。 手術に必要な以下の同意書を記入し、看護師に提出してください。 手術説明同意書 麻酔同意書 輸血同意書 特定製剤由来同意書 リハビリテーション同意書 【ご家族の方】 病室の入室の際は、部屋の前で手指消毒をお願いします。 | <ul style="list-style-type: none"> 手術前オリエンテーションを行います。 深呼吸の訓練をしましょう。 タバコを吸ってはいけません。 主治医から手術説明、麻酔科医師から麻酔の説明があります。手術説明は家族同伴で行いますので、そのまま帰らずにお部屋でお待ち下さい。 手術に必要な以下の同意書を記入し、看護師に提出してください。 手術説明同意書 麻酔同意書 輸血同意書 特定製剤由来同意書 リハビリテーション同意書 【ご家族の方】 病室の入室の際は、部屋の前で手指消毒をお願いします。 | <ul style="list-style-type: none"> 化粧はしてはいけません。 指輪、首飾、コンタクトレンズ、時計、ピアス等の貴金属類や湿布を外してください。 手術着に着替えて肺塞栓症予防のための弾性ストッキングを履きます。 トイレを済ませストレッチャーに乗り、3階の手術室へ移動します。 ご家族は、手術開始の30分前には直接病棟へお越しください。 | <ul style="list-style-type: none"> 手術終了後は、可能な限り足首の底背屈運動をしてください。麻酔が切れてくると徐々に足が動くようになってきます。足が動かない場合はナースコールでお知らせください。 床ずれや合併症予防のために、ヒップアップをしましょう。 脱臼を防ぐために、外股や内股にならないように定期的に枕をはさみます。真っ直ぐな足の位置を意識するようにしましょう。 主治医より、患者・家族へ手術の経過について説明があります。  | <ul style="list-style-type: none"> <転倒や脱臼予防について> 左右確認を行いゆくり移動しましょう。 床の回りの整理整頓を行います。 歩行器を使用する場合は、ストッパーがなく滑りやすくなっています。立ち上がる時などは支えはしないようにしましょう。 テーブルを支えにして歩いたり、立ち上がらないようにしましょう。ストッパーがかからないものがあり、危険です。 履き慣れた靴を使用しましょう。 脱臼予防を意識して継続しましょう。  | <ul style="list-style-type: none"> 歩行が可能となったら、主治医の指示のもと弾性ストッキングを脱ぐことができます。 医療保険等の診断書が必要な場合は、1階診断書窓口で手続きを行ってください。尚、書類作成には約2週間かかります。 <退院日> 病棟クラーク(事務職員)が会計票、看護師が預けている内服薬を病室までお持ちします。病室でお待ちください。  | <ul style="list-style-type: none"> 退院後にも継続して内服薬がある場合は継続して内服し、退院後初回再診日まで、不明な点、不安な事がありましたら下記連絡先へ電話してください。 | |
| 手術の準備物品 | <ul style="list-style-type: none"> 手術前日までに以下の物品を準備してください。自宅です足の爪切りをしてきてください。 1手帯2枚、平オムツ1枚(1層のローション)に売っています)、曲がるストローまたは薬のみ、必要時スプーンやフォーク、柄つブラシ(シャワー浴で足を洗うのに便利です) 手術日より、病室備用が必要となります(1日80円)ので、専用の申込用紙に記入し入院総合案内交付に提出してください。使用しなくなった場合、使用中止の手続きが必要ですので看護師へ申し出てください。 手術後はリハビリテーションが始まりますので、履き慣れた靴や動きやすいスポンを準備してください。 | | | | | | | |

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありませんことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院

注:イラストはMPOのイラスト集より転載